

令和 6 年 7 月 19 日
総務教育常任委員会
消防本部警防課・救急課

令和 6 年上半期の火災・救急・救助概要について

加古川市消防本部

火 災 概 要

1 火災件数

- (1) 令和6年上半期の火災件数は34件で、前年同期と比較すると12件の減少となっています。
- (2) 火災種別毎の火災件数を前年同期と比較すると「建物火災」は24件で増減なし、「林野火災」は0件で2件の減少、「車両火災」は3件で1件の増加、「その他火災」は7件で11件の減少となっています。
- (3) 火災件数のうち「建物火災」の占める割合は70.6%となっています。

市町別 \ 火災種別	建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	合 計	増減数
加古川市	22		3		7	32	－3
稲美町	1					1	－8
播磨町	1					1	－1
合 計	24	0	3	0	7	34	－12
増 減 数	±0	－2	＋1	±0	－11	－12	

2 被害程度

(1) 人的被害

ア 火災により、23世帯52人がり災しています。

イ 「死者」は1人で、前年同期と比較すると2人の減少、「負傷者」は5人で、3人の減少となっています。

市町別 \ 区分	り災世帯数 (世帯)	り災人員 (人)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)
加古川市	22	51	1	5
稲美町	1	1		
播磨町				
合 計	23	52	1	5
増 減 数	＋9	＋26	－2	－3

(2) 物的被害

ア 建物火災の焼損床面積は 526 m²で、前年同期と比較すると 32 m²の増加となっています。

イ 建物火災による損害額は 4,307 万 9 千円で前年同期と比較すると 876 万 5 千円の増加となっています。

区分 市町別	焼 損 床 面 積 (m ²)	焼 損 床 面 積 数 増 減 数 (m ²)	損 害 額 (千円)	損 害 額 数 増 減 数 (千円)
加 古 川 市	526	+ 133	43,032	+ 14,251
稲 美 町		±0	10	－ 2,422
播 磨 町		－ 101	37	－ 3,064
合 計	526	+ 32	43,079	+ 8,765

3 出火原因

火災件数のうち、主な出火原因は「たき火・焼却火」が 6 件で全体の 17.6%と最も多く、次いで「電気機器」が 5 件、「こんろ」が 4 件となっています。

なお、「放火」又は「放火の疑い」による火災は発生していません。

市 町 別	加 古 川 市						稲 美 町						播 磨 町						合 計
火災種別 原因別	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	小 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	小 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	小 計	
たき火・焼却火					6	6						0						0	6
電気機器	3					3	1					1	1					1	5
こ ん ろ	4					4						0						0	4
配線器具	3					3						0						0	3
電気装置	2					2						0						0	2
た ば こ	1					1						0						0	1
ストーブ	1					1						0						0	1
電灯・電話等の 配線	1					1						0						0	1
内燃機関			1			1						0						0	1
灯 火	1					1						0						0	1
そ の 他 (上記以外)	5		2			7						0						0	7
不 明	1				1	2						0						0	2
合 計	22	0	3	0	7	32	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	34

4 その他災害の活動状況

- (1) 令和6年上半期のその他災害件数は624件で、前年同期と比較すると66件減少しています。
- (2) 主な種別毎に前年同期と比較すると、「危険物排除」は40件で8件の減少、「誤報」は62件で9件の増加、「救急支援」は452件で74件の減少となっています。
- (3) その他災害件数のうち、「救急支援」の占める割合は72.4%となっています。

種 別	内 容	加古川市	稲美町	播磨町	他 市	小 計	合 計	増減数
危険物排除	施設等から危険物の流出	2				2	40	-8
	交通事故等による油流出	26	9	2	1	38		
燃焼物排除	たき火・焼却火	7	1			8	8	+2
	火あそび					0		
警戒・警備	異臭・異音	2				2	17	+7
	危険物流出事故の警戒	7				7		
	防災ヘリ等の離着陸場の設定、誘導、警戒	6				6		
	建物等の倒壊、落下に対する警戒			1		1		
	鎮火後の現場警戒	1				1		
誤 報	自動火災報知設備等の誤作動又は誤操作	43	5	4		52	62	+9
	火災と見誤ったもの (たき火の煙、水蒸気等)	7	2	1		10		
	虚偽の通報					0		
水 防	風水害等の活動又は警戒	6				6	6	+4
調 査	事後に知り得た災害事故調査	3				3	3	-1
救 急 支 援	心肺機能停止状態が疑われる場合の支援	310	38	33		381	452	-74
	安全管理を要する道路における支援	32	2	4		38		
	傷病者の搬出における支援	17	2	3		22		
	その他	7	1	3		11		
そ の 他	上記の種別に該当しないもの	28	7	1		36	36	-5
合 計		504	67	52	1	624	624	-66

救 急 概 要

1 救急出動件数

(1) 令和6年上半期の救急出動件数は9,322件、搬送人員数は8,511人で前年同期と比較すると救急出動件数は88件増加、搬送人員数は176人増加しています。

(2) 救急出動件数は1日平均51.2件（前年同期51.0件）で、28.1分（同28.2分）に1回の頻度で救急出動しています。また、1日の最多救急出動件数は78件（同89件）となっています。

(3) 現場到着所要時間の平均は8.8分（前年同期－0.1分）となっています。

市町別 区 分	救急件数	増減数	搬送人員	増減数
加古川市	7,479	+91	6,800	+137
稲美町	904	+16	844	+33
播磨町	935	－15	863	+8
他 市	4	－4	4	－2
合 計	9,322	+88	8,511	+176

2 事故種別救急出動件数

事故種別については、「急病」が6,169件で前年同期と同数で、全体の66.2%を占めています。

事故種別 区 分	急病	一般負傷	交通	転院	その他	合計
件 数	6,169	1,525	625	633	370	9,322
比 率	66.2	16.4	6.7	6.8	4.0	100
増減数	±0	+103	－71	+34	+22	+88

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

3 傷病程度別搬送人員数

傷病程度別については、「中等症」が3,760人で前年同期と比較すると234人増加し、全体の44.2%を占めています。

傷病程度 区 分	軽症	中等症	重症	死亡	合計
人員数	3,537	3,760	1,065	149	8,511
比 率	41.6	44.2	12.5	1.8	100
増減数	－65	+234	+2	+5	+176

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

4 年齢区分別搬送人員数

年齢区分別については、「高齢者」が5,221人で前年同期と比較すると212人増加し、全体の61.3%を占めています。

年齢区分 区 分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
人員数	4	587	372	2,327	5,221	8,511
比 率	0.1	6.9	4.4	27.3	61.3	100
増減数	－1	－99	＋17	＋47	＋212	176

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

5 病院収容所要時間別搬送人員数

（１）救急事故の覚知から傷病者を医療機関に収容するまでに要した時間は、「30分以上60分未満」が最も多く5,676人で全体の66.7%を占めています。

（２）病院収容所要時間の平均は38.9分（前年同期－1.6分）です。

所要時間 区 分	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	平均 所要時間
人員数	0	183	1,998	5,676	624	30	38.9
比 率	0.0	2.2	23.5	66.7	7.3	0.4	
増減数	－2	＋33	＋84	＋263	－168	－34	

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

救 助 概 要

1 救助出動件数

(1) 令和6年上半期の救助出動件数は171件で、前年同期と比較すると11件減少しています。

(2) 事故種別毎の救助出動件数は、「建物等による事故」が97件(56.7%)と最も多く、次いで「交通事故」が32件(18.7%)となっています。

事故種別 市町別	火災	交通事故	水難事故	機械に よる事故	建物等による事故	ガス及び 酸欠事故	その他の 事故	合計	増減数
加古川市	12	27	1	1	84	3	15	143	－1
稲美町		3			7		2	12	－6
播磨町	1	2	1	1	6		5	16	－2
他 市								0	－2
合 計	13	32	2	2	97	3	22	171	－11
前 年 比	－12	－17	－3	＋2	＋12	＋1	＋6	－11	

※「建物等による事故」とは、建物内での「挟まれ」や「閉じ込め」、また、「施錠された建物内での安否確認」等も含まれています。

2 事故種別救助人員数

(1) 救助人員数は78人で、前年同期と比較すると2人の減少となっています。

(2) 事故種別毎の救助人員数は、「建物等による事故」が53人(67.9%)と最も多く、次いで「交通事故」が11人(14.1%)となっています。

事故種 市町別	火災	交通事故	水難事故	機械に よる事故	建物等による事故	ガス及び 酸欠事故	その他の 事故	合計	増減数
加古川市	2	10			47	2	6	67	－1
稲美町					4		1	5	＋1
播磨町		1	1		2		2	6	－2
他 市								0	±0
合 計	2	11	1	0	53	2	9	78	－2
前 年 比	－1	－13	－4	±0	＋11	＋1	＋4	－2	

3 傷病程度別救助人員数

事故種別・傷病程度別救助人員数を前年同期と比較すると、「死亡」は21人で5人の減少、「重症」は13人で4人の増加、「中等症」は20人で4人の増加、「軽症」は11人で8人の減少となっています。

事故種別 傷病程度	火災	交通事故	水難事故	機械に よる事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	その他の 事故	合計	増減数
死 亡	1				19	1		21	－ 5
重 症	1	5			5		2	13	＋ 4
中等症		3			14	1	2	20	＋ 4
軽 症		3			4		4	11	－ 8
その他			1		11		1	13	＋ 3
合 計	2	11	1	0	53	2	9	78	－ 2
前年比	－ 1	－ 13	－ 4	±0	＋ 11	＋ 1	＋ 4	－ 2	